

令和8(2026)年度

名古屋大学大学院 法学研究科実務法曹養成専攻

## 筆記試験問題

### 民法法系

2025年10月25日(土) 13:30~15:30

#### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 配布物は、この問題冊子(表紙を除いて3枚)、民法法系1の解答用紙6枚、民法法系2の解答用紙4枚(いずれも表紙を除く)、下書き用紙2枚である。
3. 試験開始の指示があったら、はじめにこの問題冊子を確認しなさい。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあったら、ただちに監督者に申し出なさい。
4. 解答にかかる前に、解答用紙の所定の箇所すべてに受験番号を記入しなさい。解答用紙に氏名を記入してはいけない。
5. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで、原稿用紙の形式になっている場合には1まずに1字ずつ、記入しなさい(句読点もそれぞれ1字に数える)。
6. 解答用紙を綴ってある針をはずしてはいけない。
7. 試験終了後、指示があるまで退室してはいけない。
8. 解答用紙を持ち帰ってはいけない。その他は持ち帰ってもよい。

## 法律科目試験 「民事法系」 問題

### 民事法系 1 (配点 160 点)

解答は、2025年4月1日現在において施行されている法令に基づいて行うこと。

I 婚姻の取消しおよび婚姻の無効について、両者の相違点分かるように、300字以内で説明しなさい。

II 次の【設例】を読んで、問1・2に答えなさい。なお、問1・2はそれぞれ独立した問題である。

#### 【設例】

- 1 Aは、名古屋市千種区に甲建物（一戸建ての住居）を所有している。
- 2 Aは、甲建物を自ら使用する予定は当面なかったため、甲建物をBに賃貸することにした。A・B間の賃貸借契約（以下「本件契約」という。）は2024年9月15日に締結された。本件契約においては、以下の取決めがなされた。なお、賃料は、近隣の住居の賃料相場を参照して定められた。
  - ① 期間は5年とする。
  - ② Aは、2024年9月25日に、甲建物をBに引き渡す。
  - ③ Bは、毎月末日に、翌月の賃料15万円を、銀行振込にて支払う。
  - ④ ペットは小型犬または猫1匹を飼育可とする。
  - ⑤ AはBの敷金・礼金の支払を免除する一方で、Bは甲建物の経年変化・通常損耗にかかる修繕費用を負担する。
  - ⑥ 修繕にあたっては、事前にAに通知したうえで、Bが自己の名において手配するものとする。
- 3 Bは、2024年9月25日に、小型犬乙と、熱帯魚丙（各辺30cmの立方体状の水槽に入ったもの）を伴って甲建物に入居した。
- 4 Bは、2024年12月末（2025年1月分）までは、賃料を契約通り支払っていたが、2025年2月分から支払を滞らせるようになった。Aは、しばらくの間、電話による催促のみをしていたが、Bが2025年3月に入っても2月分および3月分の賃料の支払をしなかったため、2025年3月5日、直接甲建物を訪ねた。
- 5 Aの訪問に焦ったBは、平謝りし、賃料をすぐに支払う旨述べたが、Aは、「何ヶ月も払わずに今更何を言っているんですか。もう出ていってもらえますか。」と返した。また、Aは、丙が入っている水槽を見つけ、「ペットですが、犬は良いとして、あの熱帯魚は何です？聞いていませんよ。」と詰問した。

問1 【設例】の1～5の事実を前提として、Aは、Bを甲建物から退去させたいと考えている。Bが、その後1週間経った2025年3月中旬においても賃料の支払をしていない場合、AはBを退去させることができるか。Bが、Aの訪問時に、実際にインターネットバンキングを用いて未払賃料をすぐに支払った場合、AはBを退去させることができるか。

【設例（続き）】

- 6 BがAに泣きついた結果、本件契約は継続することになったが、2025年6月15日、甲建物付近に大雨が降った際、2階の寝室に雨漏りが発生した。Bは、Aに通知したうえで、修理業者のCに修理を依頼した。Cによると、雨漏りの原因は、屋根の経年劣化によるものであった。
- 7 Cは修理を終え、3週間以内に修理代10万円を払うよう、Bに請求書を渡したが、Bはその後もCに対して10万円を支払っていない。
- 8 そうこうしているうちに、Bは、突然甲建物を引き払っていなくなってしまい、行方不明になった。Bは、Aに対して、本件契約の終了を申し入れる手紙を送っており、その手紙は、行方不明になった数日後にはAの下に届いた。また、その後、Bはギャンブルのために、目立った財産がない一方で借金まみれになっていることが分かった。
- 9 現在（2025年10月25日）、Aは、甲建物を自らの管理下に戻している。

問2 【設例】の1～9の事実を前提として、Cは、Bから支払を受けられなかった10万円の支払をAに対して求めることができるか。

## 民事法系 2 (配点 80 点)

Ⅲ 次の事項について、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- (1) 基本的商行為と補助的商行為
- (2) 記名証券、指図証券および無記名証券

Ⅳ 甲株式会社（以下「甲社」という。）は、公開会社でない株式会社である。甲社は、取締役会の決議によって、募集株式の発行のために必要な募集事項を決定し、当該募集事項に従って、株主割当て以外の方法により株式の発行（以下「本件新株発行」という。）をした。

本件新株発行の効力が生じた日から 8 箇月後の日に、甲社の取締役 A は、本件新株発行の無効の訴えを提起した。本件新株発行の無効の訴えに係る請求は、認容されるか否かについて、説明しなさい。